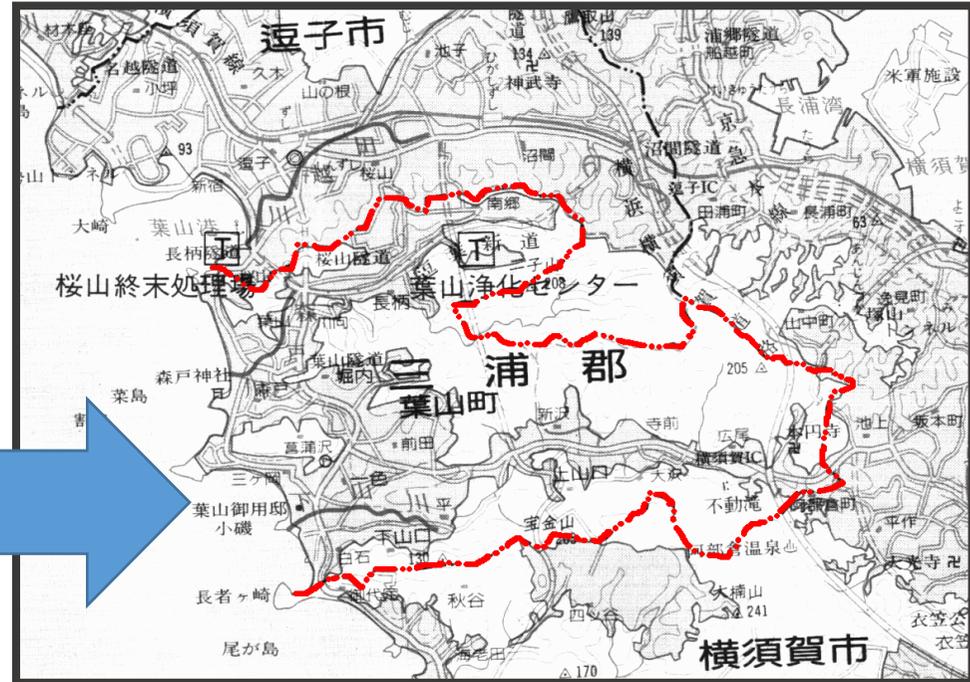


# 神奈川県葉山町

## 未普及解消に向けた管路DB



# 葉山町の位置と概要



- 面積 1, 704 ha
- 人口 33, 129人 (令和元年9月30日現在)
- 市街化区域 513 ha
- 市街化調整区域 1, 191 ha
- 誕生

明治22年 葉山村 (木古庭村、上山口村、下山口村、一色村、堀内村、長柄村)

明治27年 葉山御用邸の築造

大正14年 葉山町

# 葉山町の観光



## 【海】

葉山海岸は、森戸海岸、芝崎、一色海岸、小磯、長者ヶ崎海岸という砂浜と岩礁が交互に連なっている美しい海岸線で、「ヨット発祥の地」であるうえに、魚影が濃く、釣りをはじめ各種マリンスポーツが盛んな地域。

平成8年には「日本の渚・百選」に、平成16年には「関東の富士見100景」に選ばれている。



## 【葉山しおさい公園】

葉山御用邸付属邸跡地に開設された公園。



## 【棚田】

別名、千枚田は「にほんの里100選」にも選ばれている。

# 浄化センター、中継ポンプ場、幹線管きよ

## 【葉山浄化センター】



敷地面積：約29,500㎡  
排除方式：分流式  
地盤高：T.P.+40.5m  
処理方式：下水処理 酸素活性汚泥法  
汚泥処理 濃縮→脱水→場外搬出  
全体計画処理能力：14,100㎥/日  
現有処理能力：10,575 ㎥/日

## 【葉山中継ポンプ場】



敷地面積：約1,100㎡  
地盤高：T.P.+4.1m  
圧送先：葉山浄化センター着水井  
ポンプ型式：槽外型横軸無閉塞ポンプ  
ポンプ揚水量：6.2㎥/分 × 3台（内1台予備）  
現有揚水量：5.6㎥/分 × 2台

## 【幹線管きよ】



シールド部  
〈標準断面図〉

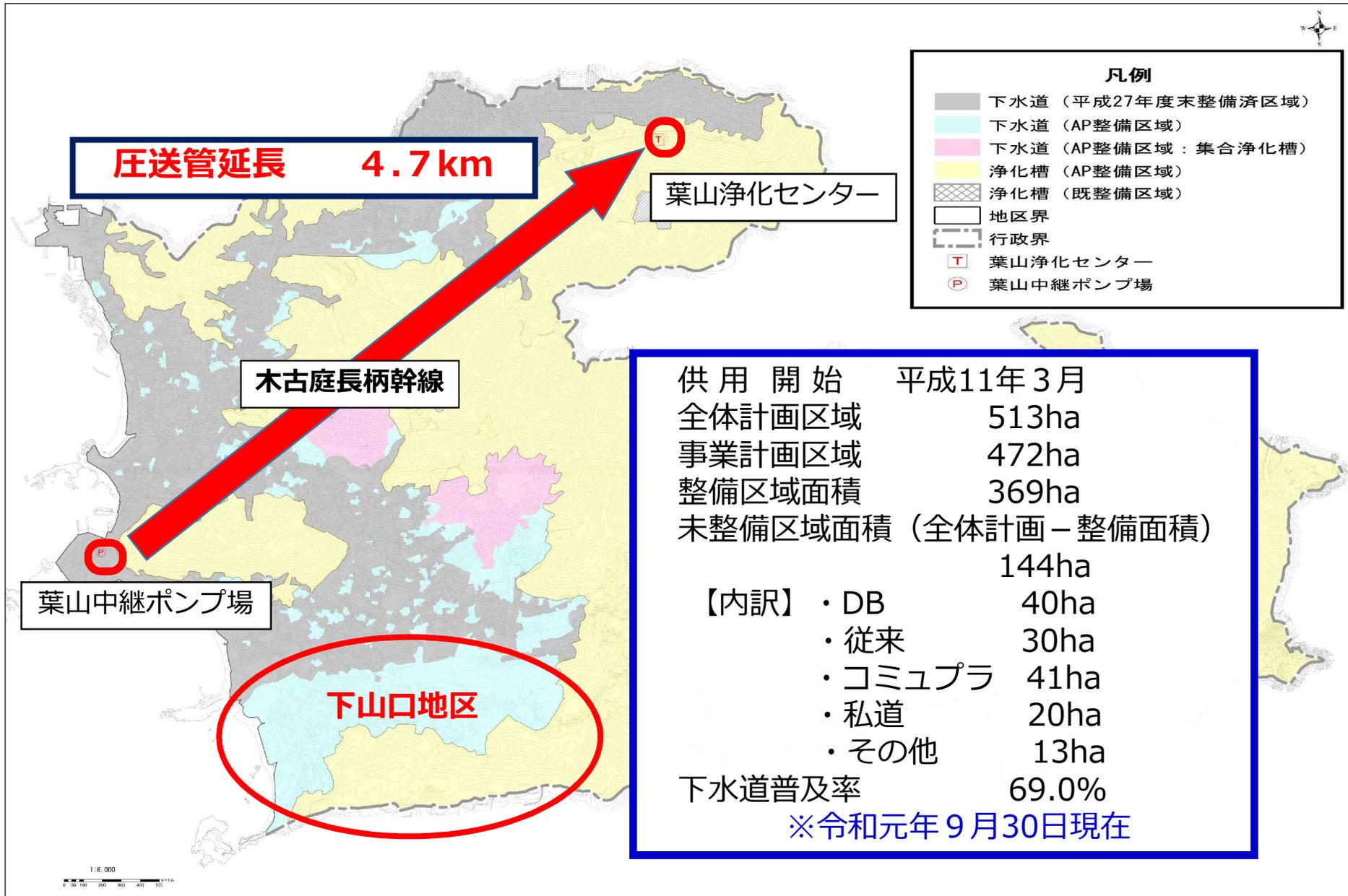
内径2.0メートルの管の上部が自然流下管となっており、下部が葉山中継ポンプ場から葉山浄化センターまで汚水を送る圧送管（標準45センチメートル×2.0メートル）となっている。

自然流下管（Φ150からΦ1000）

圧送管（Φ50からΦ450）

総延長 L=102km

# 葉山町下水道事業の特徴

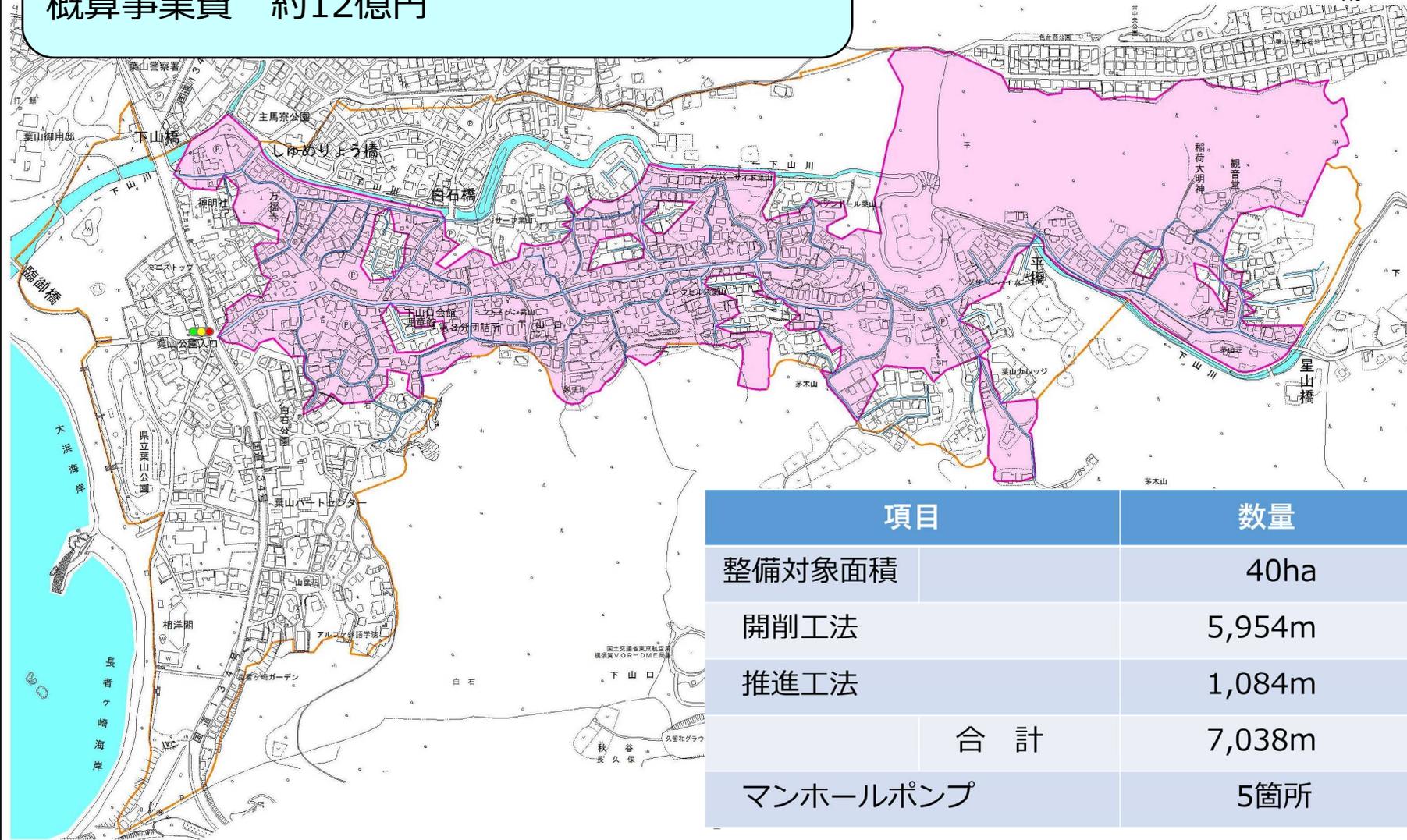


# 葉山町管路DB事業対象範囲（下山口地区）

事業期間 平成30年度～令和4年  
 (5年間：設計1年間・施工4年間)  
 概算事業費 約12億円

凡例

- 字界（下山口地区）
- 事業対象区域



項目		数量
整備対象面積		40ha
開削工法		5,954m
推進工法		1,084m
	合計	7,038m
マンホールポンプ		5箇所

# 管路DB導入の背景

◆平成27年度に未普及解消に向けたアクションプラン（平成28年度～令和7年度）を策定

⇒令和7年度までに全体計画区域513haの概成を達成するためには、未整備地区を期間中に整備する必要があり、従来の倍以上の年間整備ペースが必要になる状況・・・

⇒通常の発注方法では、早期の汚水処理概成が困難



**概成に向けて官民連携事業の導入が必要**

# 導入可能性調査【平成29年度実施】

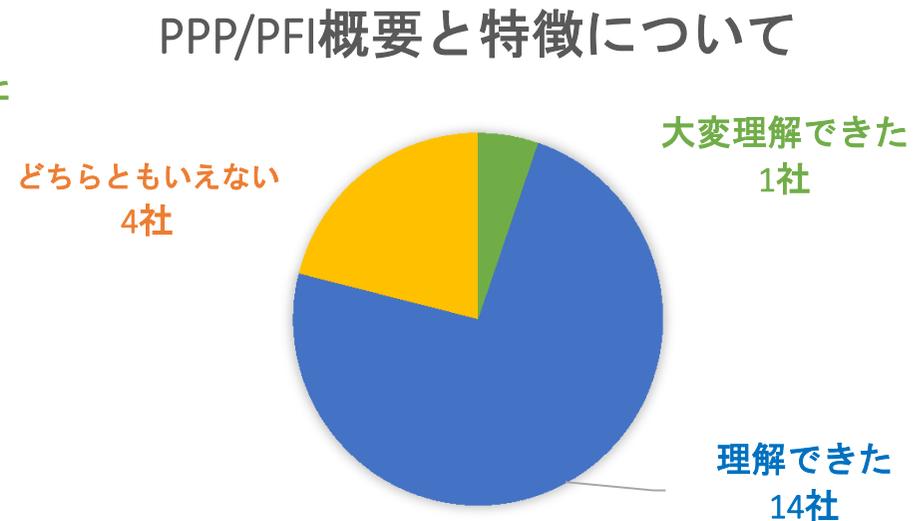
- ◆平成29年6月初旬 公募型プロポーザルにより  
導入可能性調査委託の契約締結
- ◆平成29年6月～12月 基本設計作成  
スキーム、プロセス等の検討
- ◆平成29年8月 第1回事業者説明会
- ◆平成29年9月上旬 第2回事業者説明会
- ◆平成29年9月下旬 事業者個別ヒアリング実施
- ◆平成29年10月 第3回事業者説明会
- ◆平成30年1月 実施方針(案)作成

# ◆第1回事業者説明会の概要

対象：設計会社 10社、建設会社 9社

内容：未普及地域解消に向けた今後の整備方針について  
従来発注からPPP/PFI事業方式の採用を町として検討  
していることを説明しました。

アンケート実施 結果

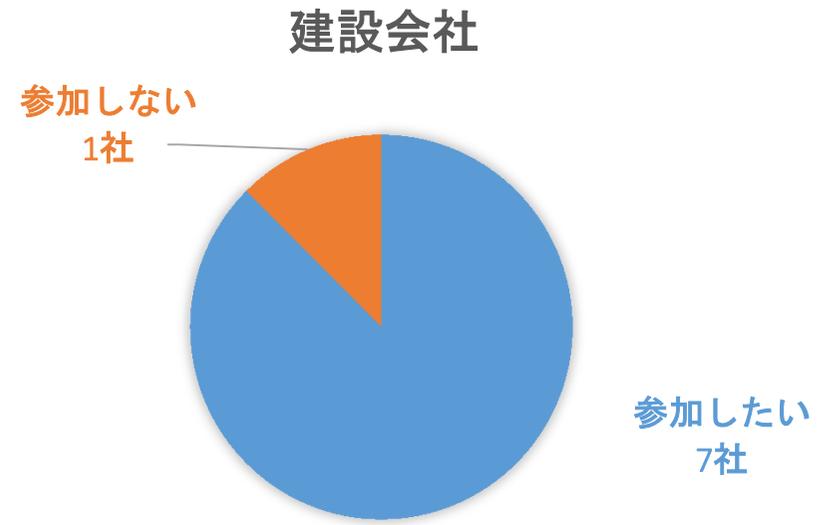
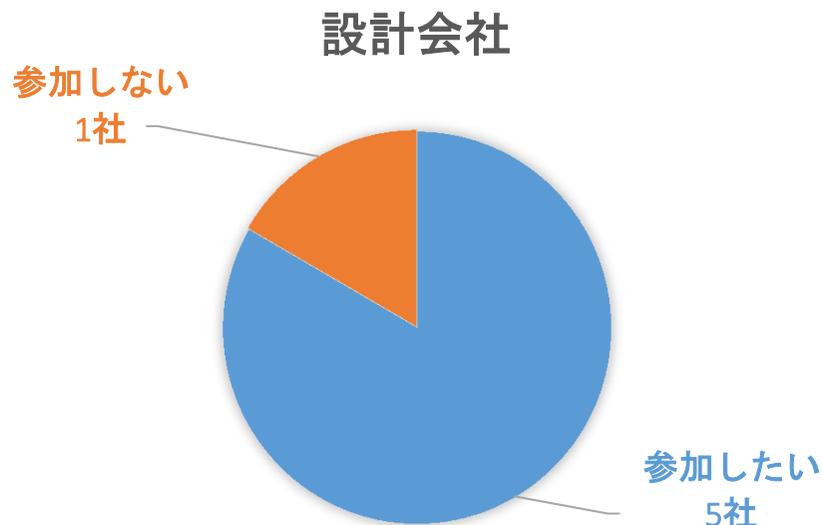


# ◆第2回事業者説明会の概要

対象：設計会社 6社、建設会社 8社

内容：第1回のアンケートにおける質問事項への回答  
事業対象範囲、事業内容及びスケジュールについて  
(計画平面図・縦断図・設計条件等の資料を提供)

事業への参加意向



# ◆事業者個別ヒアリングの概要

対象：設計会社 6社、建設会社 6社

- 内容：①事業範囲・事業場所に関する確認  
②事業実施期間に関する確認  
③事業期間に関する確認  
④事業実施方式に関する確認  
⑤リスク分担に関する意見  
⑥その他の条件に関する意見

結果	積極的なところ	消極的なところ
設計会社	<ul style="list-style-type: none"><li>・新技術の検討及び導入</li><li>・期間の短縮</li><li>・施工監理</li><li>・埋設物を早期に確認できる</li><li>・コスト縮減が図れる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・建設会社の情報がない</li><li>・QPによる維持管理の不安</li><li>・推進工法の選定</li><li>・リスク分担</li></ul>
建設会社	<ul style="list-style-type: none"><li>・現場に精通している</li><li>・期間の短縮</li><li>・工事の手戻りの軽減</li><li>・閑散期に仕事がある</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・設計会社の情報がない</li><li>・支払い</li><li>・契約変更等のリスク</li><li>・住民周知</li></ul>

## ◆ 第3回事業者説明会の概要

対象：設計会社 5社、建設会社 8社

内容：今後の事業スケジュール  
事業内容に対する見積もり依頼

## ◎ 事業者説明会の結果

全3回の事業者説明会及び個別ヒアリングを実施した結果、未普及解消に向けた官民連携事業導入については、民間業者の参入意向等を踏まえ可能であると判断しました。

# 導入可能性調査の結果

## ○ 官民連携事業としての導入可能性 ⇒ **あり**

- ・ 工事の集約に伴う効率化及び一括発注方式による業務量の削減が図れる
- ・ 業者説明会及びヒアリングを行った結果、事業参加意向のある業者が多い

## ○ 事業方式 ⇒ **設計・施工一括発注方式(DB方式)**

- ・ 対象区域が葉山町公共下水道全体計画区域の一部に限られている
- ・ 維持管理を考慮すると、オペレーションまで事業一体とすることは難しい

## ○ 入札手続き等 ⇒ **公募型プロポーザル**

対象区域に関する設計、施工に係わる技術提案を公募し、民間事業者の新技术などの活用、創意工夫や多様な技術提案を期待

## ○ 契約等 ⇒ **乙型JV方式**

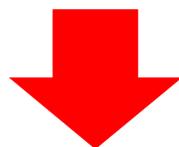
面整備管渠での施工ゆえ変更が多いと想定されるため、基本協定を締結しその後、委託契約(設計)、請負契約(施工)を分離して契約を予定

# 事業者選定【平成30年度～】

平成30年 4月 2日	実施方針の公表
平成30年 6月 1日	公募型プロポ方式として公告
平成30年 6月 6日	参加表明・資格審査書類の提出
平成30年10月 5日	提案書提出
平成30年10月29日	プレゼンテーション及びヒアリング
平成30年11月 6日	選考委員会に諮問
平成30年11月21日	基本協定締結
平成30年12月 5日	業務委託契約
令和 元年10月 1日	工事請負契約締結

# 葉山町の期待する事業効果

ヒト	モノ	カネ
<ul style="list-style-type: none"><li>○職員の設計・工事に関する労務を削減できる</li><li>○民側では工事の不稼動期間が無くなり、人的リソースを効率的に活用できる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○アクションプランに基づく財源を固定とすると、整備完了を1年前倒しできる</li><li>○民間ノウハウを活用し地域に適切な整備ができる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○従来の発注方式と比べ建設費の低減ができる</li><li>○アクションプランの整備目標年度を固定すると建設費の低減ができる</li></ul>



**アクションプランの達成**

ご清聴いただきありがとうございました。

